

在南ア日本大使館
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol.36

文・写真◎新保 剛



2010年のワールドカップ開幕まで、ついにあと58日。
開催国の南アでの観戦を予定している人は、
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう！

今回は電源プラグを紹介しよう。
最近のビデオやカメラ、パソコン、携帯電話の充電器は、各国の設定する電圧が違っても対応できるように設定されていることが多い。220ボルトが一般に供給されている南アで使う分にも問題はないが、壁についているコンセントの形状が違う。南アの電源プラグは3本の丸いピンが三角形に配置されていて、日本の2枚の金属板を並べた形の電源プラグでは差し込むこともできない。
南アのホテルには電気カミソリ用のコンセントを設置しているところがある。これだと、日本と同じ電源プラグを使える。とはいえ、筆者が試してみたところ、うまく充電できない場合もあるし、そもそも、そんな設備がないホテルの方が多い。事前に南ア用の変換プラグを入手しておくことが望ましいのだが、日本で取り扱っている店は非常に少ないはずだ。
ただ、日本で南ア規格の変換プラグが見つからなくとも心配はいらない。ヨーロッパの主流規格で

●「電源プラグは事前に用意しておくこと」●



▲南アで最も多いのが3本ピンのもの。日本の電気製品を使用する場合は、アダプターが必須



▲ホテルのプラグ。南ア型の3本ピンとヨーロッパ型の2本ピンが使えるようになっている

ある2本の丸いピン用の変換プラグを買っておけばいい。面白いことに、南アで販売されている携帯電話の充電器は、ヨーロッパの物と全く同じ規格だ。このため、南ア国内でもヨーロッパタイプの電源プラグを使えるコンセントが急速に増えてきている。
また、ホテルなどでも変換プラグや専用のテールタップを持っているはずだから、部屋にない場合には尋ねてみるといい。それでもダメなら、スーパーマーケットか電気屋に行けば、100円程度で買することができる。
変換プラグを入手したら、再度電気製品の電圧規格をチェックすることを忘れずに。筆者は、外国に持っていったラジカセの電源プラグを合わせただけで安心し、倍の電圧のコンセントにつないだことがある。すぐに気付いたが、時すでに遅し。ラジカセは煙を吹き、使えなくなった。一昔前の痛い思い出である。

著者プロフィール◎一等書記官兼領事、06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本国大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html